

# Monthly NewsLetter

from Bunsei Shoin  
(November 2025)

表示価格は税別です

文生書院

〒113-0033 東京都文京区本郷 6-14-7

Tel (03) 3811-1683

Fax (03) 3811-0296

e-mail: [info@bunsei.co.jp](mailto:info@bunsei.co.jp)

<http://www.bunsei.co.jp/>



Bunsei Shoin  
Booksellers, Co., Ltd.

14-7, Hongo 6 Chome, Bunkyo-ku, Tokyo, Japan. 113-0033

Telephone: +(81-3) 3811-1683

Fax: +(81-3) 3811-0296

e-mail: [info@bunsei.co.jp](mailto:info@bunsei.co.jp)

文生書院：PDFニュースレター 2025年11月号

# 1] アイウエおもちゃ

## A-I-U-E Toy

武井武雄 鈴木仁成堂 1932年 [昭和7年] 18.8×35.3cm

¥ 200,000-



武井武雄が鈴木仁成堂から刊行した玩具絵本の一つで、五十音の「あ・い・う・え・お／か・き・く・け・こ…」を題材に言葉と図像を組み合わせている。横長の判型を用い、見開き全体を使った構成が特徴。版画的な描線や簡潔な配色など、当時の武井が行っていた童画制作と通じる要素が見られる。文字の音と形に着目し、言葉遊びを視覚的に展開する形式で、武井の初期玩具絵本に共通する実験的な造形の一例となっている

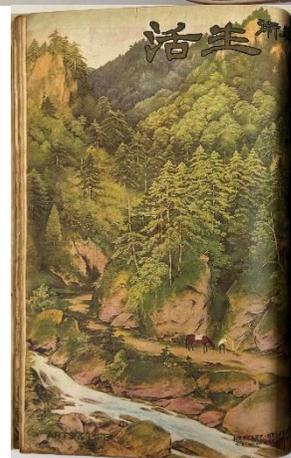
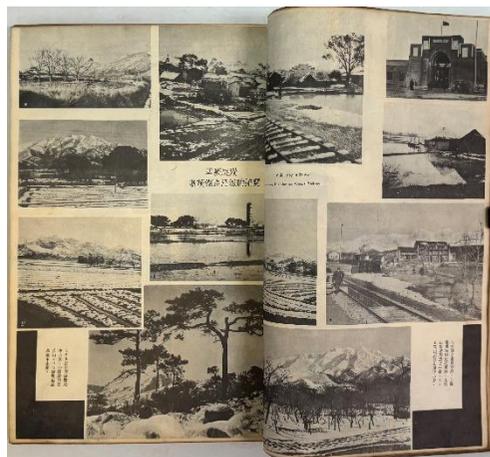
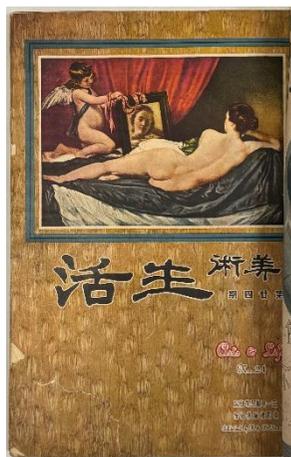
## 2] 美術生活 [Art & Life] 22~27号 (合本1冊)

### Art Life, Nos. 22-27 (Bound Volume)

三一印刷公司 美術生活雜誌社 1936年 [昭和11年] B4 【破 ヤケ イタミ 少ムレ】

¥ 150,000-





上海・三一印刷会社が刊行した大型美術雑誌『美術生活 (Art & Life)』の22～27号を合本。

B4判の迫力ある紙面に、彫塑・建築・絵画・写真・欧米アート紹介などを収録。モダン上海の文化水準を示す戦前中国美術誌の貴重資料。

収録内容には、古代石像写真、内モンゴル建築特集、宗教舞踊写真、英国艦隊の演習写真など、当時の国際的視野を示す記事が多数掲載されている。戦前期に中国でこれほど大型で高品位なアート誌が存在したこと自体、現在では極めて稀かと思われる。

3] 紙芝居 第6巻2・9号/第7巻3・7・8号(5冊)

Kamishibai, Vol. 6 Nos. 2 & 9 / Vol. 7 Nos. 3, 7 & 8 (Set of 5 Booklets)

日本教育紙芝居協会 1943・1944年 [昭和18・19年] 80+32+32+31+32p B5 【少ヤケ】

¥ 65,000-



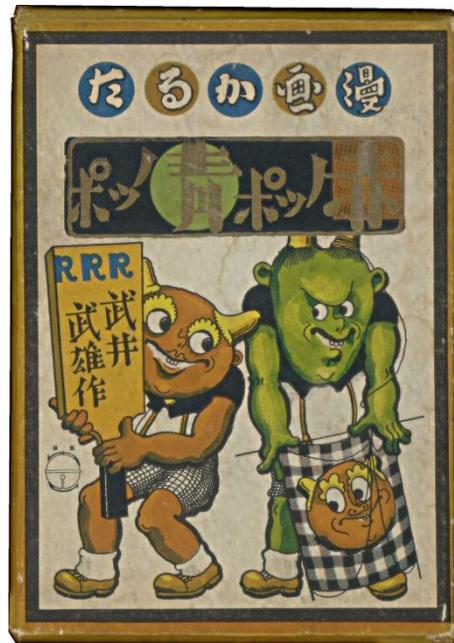
日本教育紙芝居協会が1943・1944年に刊行した紙芝居冊子。いずれも教育・教化的内容の紙芝居として編集されており、各冊には台本形式の文章が収められている。刊行時期は戦時下にあたり、この時期特有の紙質や簡易な造本が見られる点が特徴である。

# 4] 漫画かるた 赤ノッポ青ノッポ

## Manga Karuta: Aka-Noppo Ao-Noppo

(読札 48枚・取札 48枚・予備札 1枚) 武井武雄 鈴木仁成堂 1936年 [昭和11年] 【函少イタミ】

¥ 85,000-



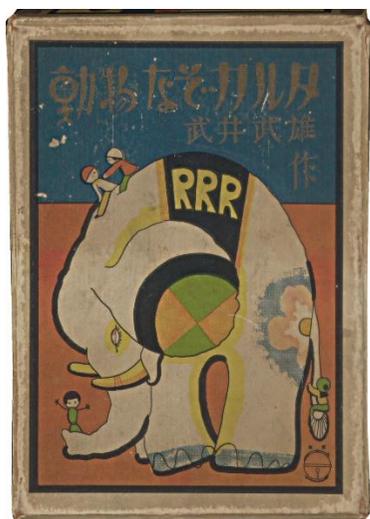
武井武雄が1936年に鈴木仁成堂から刊行したかるたで、読札48枚・取札48枚・予備札1枚が付属する。「赤ノッポ青ノッポ」は東京・大阪毎日新聞で連載されていた漫画物語をもとにしたもので、本作はその絵本版をかるた形式にしたものとなる。付属札の構成は読札と取札で対応し、セットとして遊戯用にまとめられている。

## 5] 動物なぞカルタ

### Dōbutsu Nazo Karuta (Animal Riddle Karuta)

(読札48枚・取札48枚・予備1枚) 武井武雄 鈴木仁成堂 1936年 [昭和11年] 函少イタミ

¥ 85,000-



武井武雄による1936年刊のかるたで、読札48枚・取札48枚・予備札1枚が付く。読札には動物に関する簡単ななぞなぞが記載され、加えて小さな文字でヒントも添えられている点の特徴。

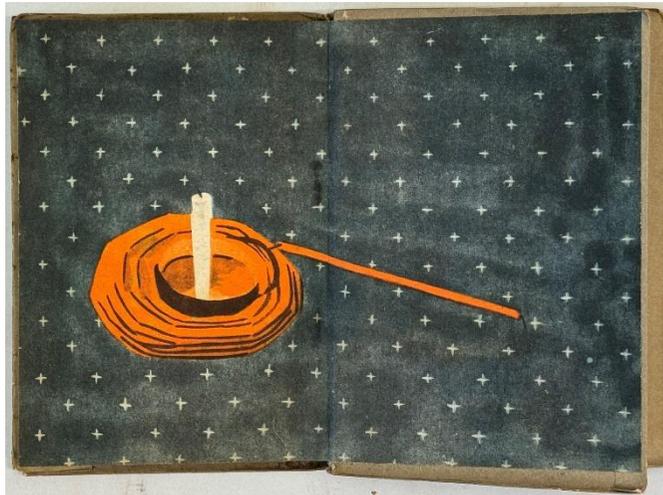
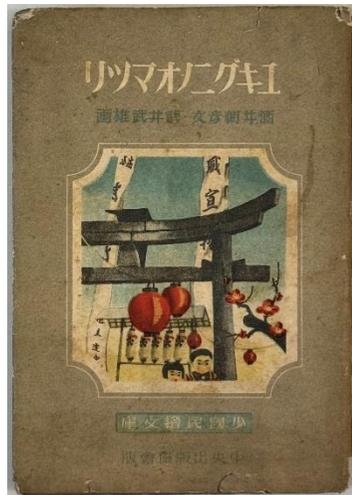


7] ユキグニノオマツリ [少国民絵文庫]

Yukiguni no Omatsuri (Children's Picture Book Series) [Shōkokumin Ewabunko]

武井武雄 (画) 酒井朝彦 (文) 中央出版創立事務所 1944年 [昭和19年] 57p A6 【少ヤケ 記名 カバーイタミ】

¥ 45,000-



ユキグニニモ タノシイ オシウケツカ キマ  
シタ。ユキヲ カフツカ イヘイノ カドマツノ  
ウヘニ、ヒノマルノハタカ ヒラヒラト ナビイテ  
キマス。  
ケレド、コトシハ タイヘンナ トシ デス。キタ  
ノ ウミデモ ミナミノ ウミデモ、ハゲシイ セン  
サウガ オコナハレテ エルゾデ、コトモチゲツテ、  
タダ アンデバカリ キル コトハ デキマセン。

## 8] 諸古久名所双六 (袋付)

Shokoku Meisho Sugoroku (Sugoroku of Noted Places Across Various Provinces)

[with Original Envelope]

重宣 (双六画) / 豊国 (袋画) 三鉄 55×48cm 【少イタミ】

¥ 100,000-



重宣が双六画、豊国が袋画を手がけた双六で、55×48cm。袋付き。掲載地名として吾妻橋、駿河府中、伊勢古市ほかが挙げられている。名所を題材とした双六として制作されたもので、図柄は当時の名所一覧を視覚的に表した形式となっている。

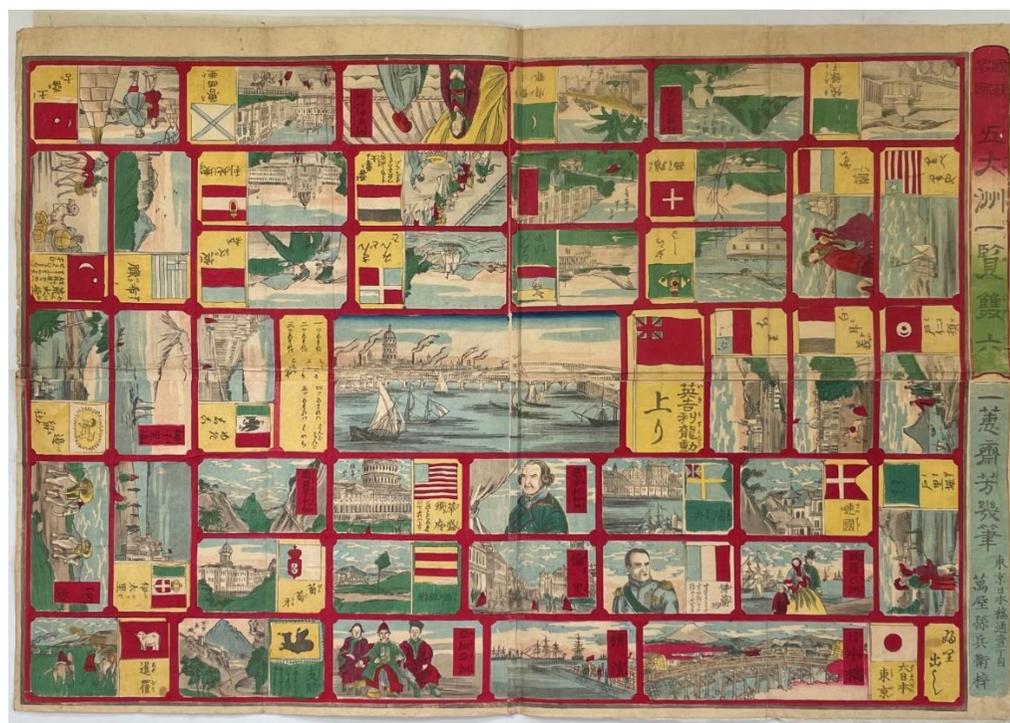
## 9] 国旗名跡五大州一覽双六

Kokki Meiseki Godai-shū Ichiran Sugoroku

(Sugoroku of National Flags and Noted Sites of the Five Continents)

一恵斎芳幾（落合芳幾） 萬屋孫兵衛板 50×73cm 【少イタミ 裏打】

¥ 120,000-



一恵斎芳幾（落合芳幾）による双六で、萬屋孫兵衛から刊行されたもの。判型は50×73cm。作品は裏打が施されており、紙面には国旗や名跡を題材にした図像が配置されている。五大州を扱う構成で、各地の名称と国旗を一覧的に示した形式となっている。

# 10] 尚武須護陸 (双六)

## Shōbu Sugoroku (Sugoroku of Army Ranks and Military Service)

月耕 (尾形月耕) 東洋堂 1893年 [明治26年] 95×72cm 【少ヤケ 少イタミ 一部消込有 補修有】

¥ 80,000-



月耕 (尾形月耕) による双六図で、東洋堂から 1893 年 (明治 26 年) に刊行されたもの。判型は 95×72cm。図中には「徴兵」「軍人志願」「軍曹」「士官候補生」「中佐」「大尉」「大将」「靖国社」などの語が並び、軍務や階級に関する段階的なマスが設定されていることがわかる。

# 1 1] ミッキーの東京遊覧双六

## Mickey's Sightseeing in Tokyo Sugoroku

松屋 54×78.5cm 【少ヤケ 少イタミ】

¥ 55,000-



松屋が制作した「ミッキーの東京遊覧双六」。判面は 54×78.5cm で、東京の主要地点を題材とした双六図が描かれている。掲載地として、神宮外苑絵画館、東京駅、羽田国際飛行場が示されている。紙面の裏面には銀座松屋の広告が印刷されている。

## 1 2] 女礼式画譜

### Onna Reishiki Gafu (Illustrated Manual of Women's Etiquette)

11 図 【少ヤケ 少シミ】

¥ 55,000-



本資料は「女礼式画譜」と題された図版集で、茶のゆ、せき画、物よみ、三曲、さし花、いご、席がき、ぬい針など、女性の礼式や所作に関わる複数の場面が図示されている。全 11 図が収録されており、内容は絵画による実技・所作の視覚的説明を中心に構成されている。版元名・刊行年の記載は資料中に確認できず、制作背景の詳細は未確認。

1 3] コドモ満州 [レコードエホン No. 7]

Kodomo Manchuria (Children's Manchuria) [Record Ehon No. 7]

金井信生堂 21×18cm

¥ 55,000-



1 4 ] 軍艦マーチ [レコードエホン No.2 3]

Gunkan March (Battleship March) [Record Ehon No. 23]

金井信生堂 21×18cm

¥ 25,000-



# 15] マッチラベル帖 (燐票帖)

## Album of Matchbox Labels (phillumeny)

305枚 少イタミ

¥ 55,000-



広東吉祥公司製造・中国火柴隆記公司・栄真社製造・京都ホテル・合名会社宝光商会／他

## 街頭紙芝居（がいとうかみしばい）とは

街頭紙芝居（がいとうかみしばい）とは、昭和初期から戦後初期の日本（1930年代～1950年代）にかけて、都市部を中心とした日本各地の屋外（街頭）で上演された、子どもや地域住民を主な観客とする大衆向けの絵物語芸能である。

その最大の特徴は、以下の物理的・上演形態的な要素にある。

### 1. 物理的形態と技法:

厚手のボール紙または段ボール紙を支持体とし、表面に直接描画（または簡易印刷＋手彩色）を施している。

屋外での使用に耐えるよう、表面全体に手塗りのニス（ワニス）による防水・防汚加工が施されている。このニスは同時に発色を高める視覚的効果も持つ。作品は一点ごとの手仕事によるオリジナル制作であり、戦後の印刷出版を目的とした教材型・商業型紙芝居とは、素材、技法、用途のいずれにおいても明確に区別される。

### 2. 上演形態:

演者である「紙芝居屋」が、自転車などに設置した舞台装置を用いて上演した。

観客である子どもたちに水飴などの駄菓子を販売し、商売を介した特殊な興行形態をとっていた。

演者の「語り」と、絵の抜き差しによる「演出」が一体となった「語り＋絵＋演出」の総合芸能として成立していた。

街頭紙芝居は、テレビの普及に伴い1950年代に急速に衰退したが、戦前日本の都市文化、大衆芸能、視覚メディア史を理解する上で、また戦後の子ども文化を象徴する存在として、極めて重要な文化的価値を持つ。

---

## Street Kamishibai

**Street Kamishibai** refers to a form of popular illustrated storytelling performed outdoors—primarily in urban areas—throughout Japan from the early Shōwa period to the early postwar years (roughly the 1930s to the early 1950s). It was a form of entertainment aimed at children and local residents, combining vivid images, spoken narration, and simple theatrical techniques. Its defining characteristics can be understood in two main aspects: **its material form and its mode of performance.**

## 1. Material Form and Technique

Street Kamishibai were created on **thick paperboard or cardboard panels**, on which artists either painted directly or applied simple printed outlines with added hand-coloring.

To withstand outdoor use, each surface was coated by hand with **a layer of varnish**, serving both as waterproof protection and to enhance the brightness of the colors.

Every set was **individually handmade**, and thus distinct from the mass-produced, publisher-issued *educational Kamishibai* that appeared later in the 1950s.

In both material and intent, Street Kamishibai were **original works of craftsmanship**, rather than printed teaching materials or commercial publications.

## 2. Mode of Performance

Performers known as *kamishibaiya* traveled from place to place, mounting their small wooden stages on the back of bicycles and presenting stories by sliding the illustrated panels in and out of the frame.

During performances, they often sold sweets—especially **candy syrup (mizu-ame)**—to the gathered children, creating a unique form of livelihood that combined entertainment and small trade.

Each presentation was a composite performance uniting **narration, image, and stagecraft**, and relied on the performer's voice, timing, and crowd interaction as much as on the artwork itself.

---

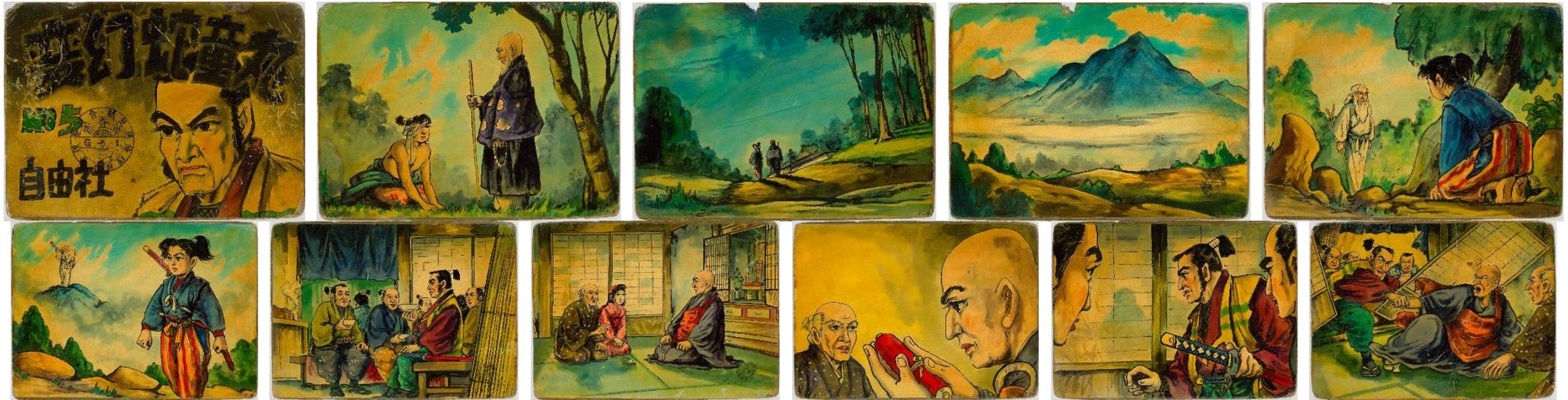
Although Street Kamishibai rapidly declined with the spread of television in the late 1950s, they occupy a crucial place in the history of Japan's **urban popular culture, performing arts, and visual media**. They stand as an enduring symbol of pre-television popular storytelling and community life in modern Japan.

16] 変幻蛇童丸 5 (街頭紙芝居)

Hengen Jadōmaru, No. 5 (Street Kamishibai)

(11枚1組) 自由社 B4 【審査済印 少イタミ】

¥ 90,000-



17] 変幻蛇童丸 6 (街頭紙芝居)

Hengen Jadōmaru, No. 6(Street Kamishibai)

(11枚1組) 自由社 B4 【審査済印 少イタミ】

¥ 90,000-



1 8 ] 変幻蛇童丸 7 (街頭紙芝居)

Hengen Jadōmaru, No. 7(Street Kamishibai)

(1 1枚1組) 自由社 B4 【審査済印 少イタミ】

¥ 90,000-

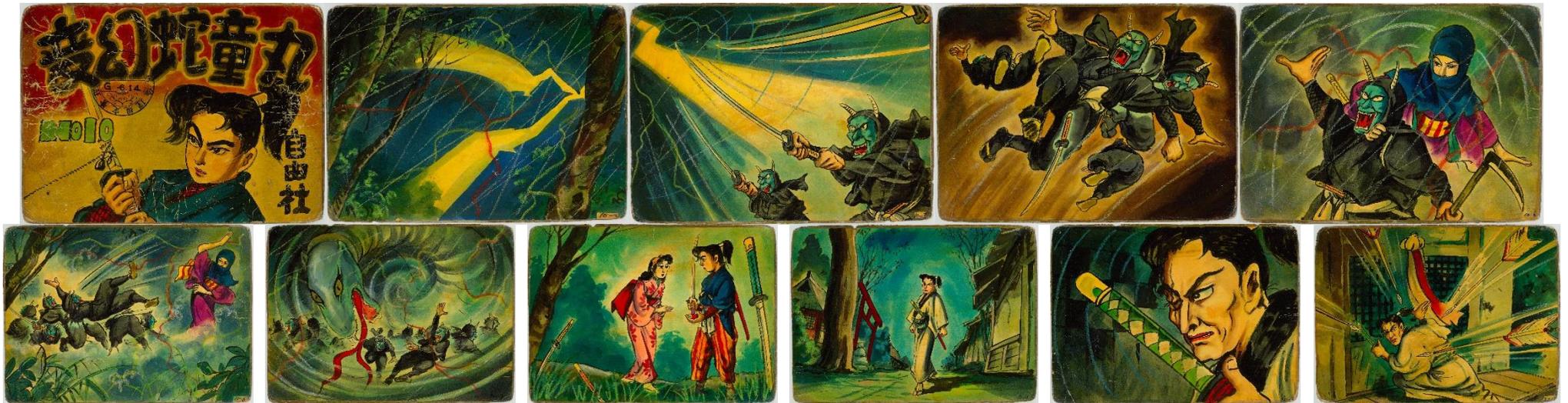


19] 変幻蛇童丸 10 (街頭紙芝居)

Hengen Jadōmaru, No. 10 (Street Kamishibai)

(11枚1組) 自由社 B4 【審査済印 少イタミ】

¥ 90,000-

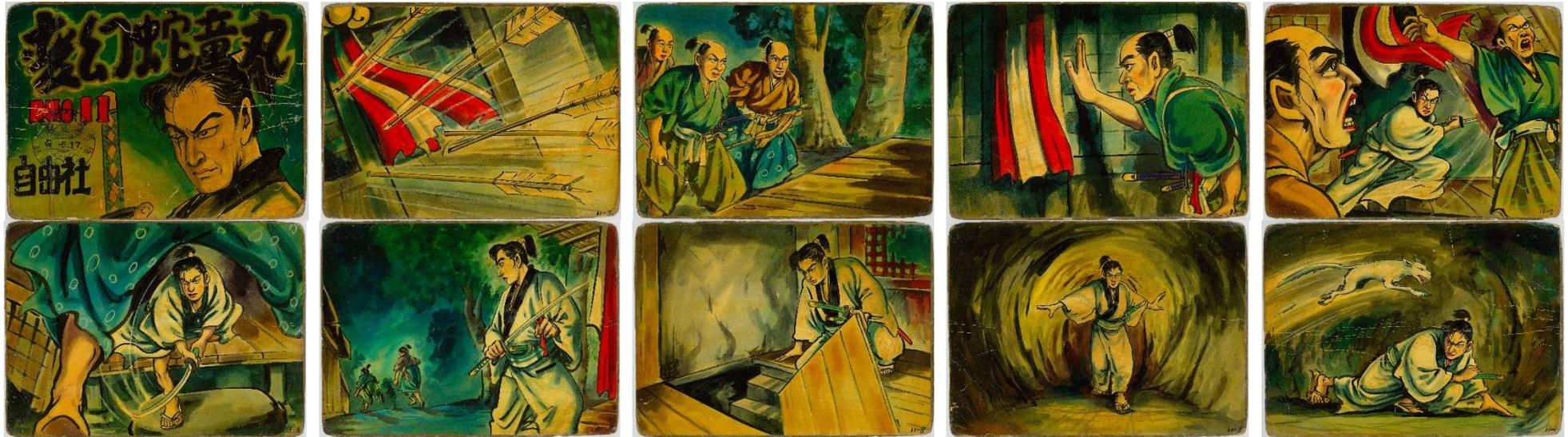


20] 変幻蛇童丸 11 (街頭紙芝居)

Hengen Jadōmaru, No. 11 (Street Kamishibai)

(10枚1組) 自由社 B4 【審査済印 少イタミ 1枚欠】

¥ 35,000-



## 2 1] 浮世絵さいころパズル

### Ukiyo-e Dice Puzzle

(付図4枚) 【函イタミ 付図一枚欠】

¥ 50,000-



浮世絵を図案に用いた「さいころパズル」で、付図は5枚付属しているはずだが、そのうち1枚が欠けている。内容には京都清水観音、総州加蔦浦、安芸巖嶋神社、周防錦帯橋、丹後天ノ橋立、鎌倉八幡宮といった名所図が含まれている。これらはいずれも江戸後期以降の浮世絵に多く描かれた景勝地として知られ、一般的に観光名所絵として広く流通していた題材であることが確認できる。

## 2 2] 星丘茶事 [星ヶ岡茶寮]

### Hoshioka Chaji (Hoshigaoka Saryo)

3冊 明治20・21年 73丁+59丁+90丁 24×16.2cm

¥ 150,000-

#### 2 (明治20年1月より同年5月まで)

[出席者：松田宗貞・古筆了悦・油出久兵衛・西四辻公業・壬生基修・増島六一郎／他]



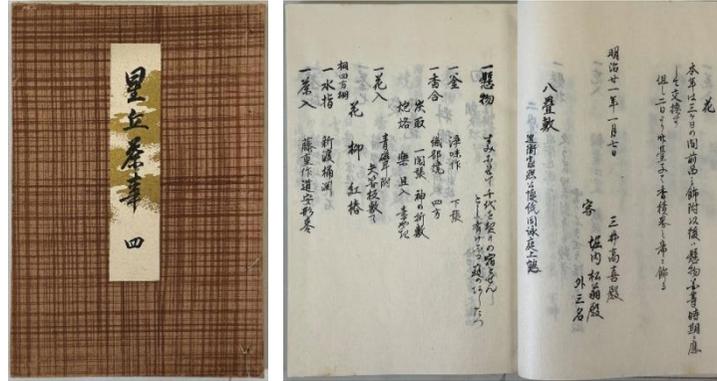
#### 3 (明治20年6月より同年12月まで)

[出席者：芦田順三郎・正親町実徳・藤波言忠・川上宗順・三野村利助／他]



#### 4 (明治21年1月より同年6月まで)

[出席者：堀内松翁・近衛忠熙・木子清敬・永田習水・綾小路有良・大原重朝／他]



星ヶ岡茶寮（星岡茶寮）の茶会記で、明治20年から21年にかけて行われた茶事の記録を収めた3冊。

各冊には実際の開催期間が明記され、出席者として松田宗貞、古筆了悦、油出久兵衛、芦田順三郎、正親町実徳、堀内松翁など、多様な人物名が確認できる。

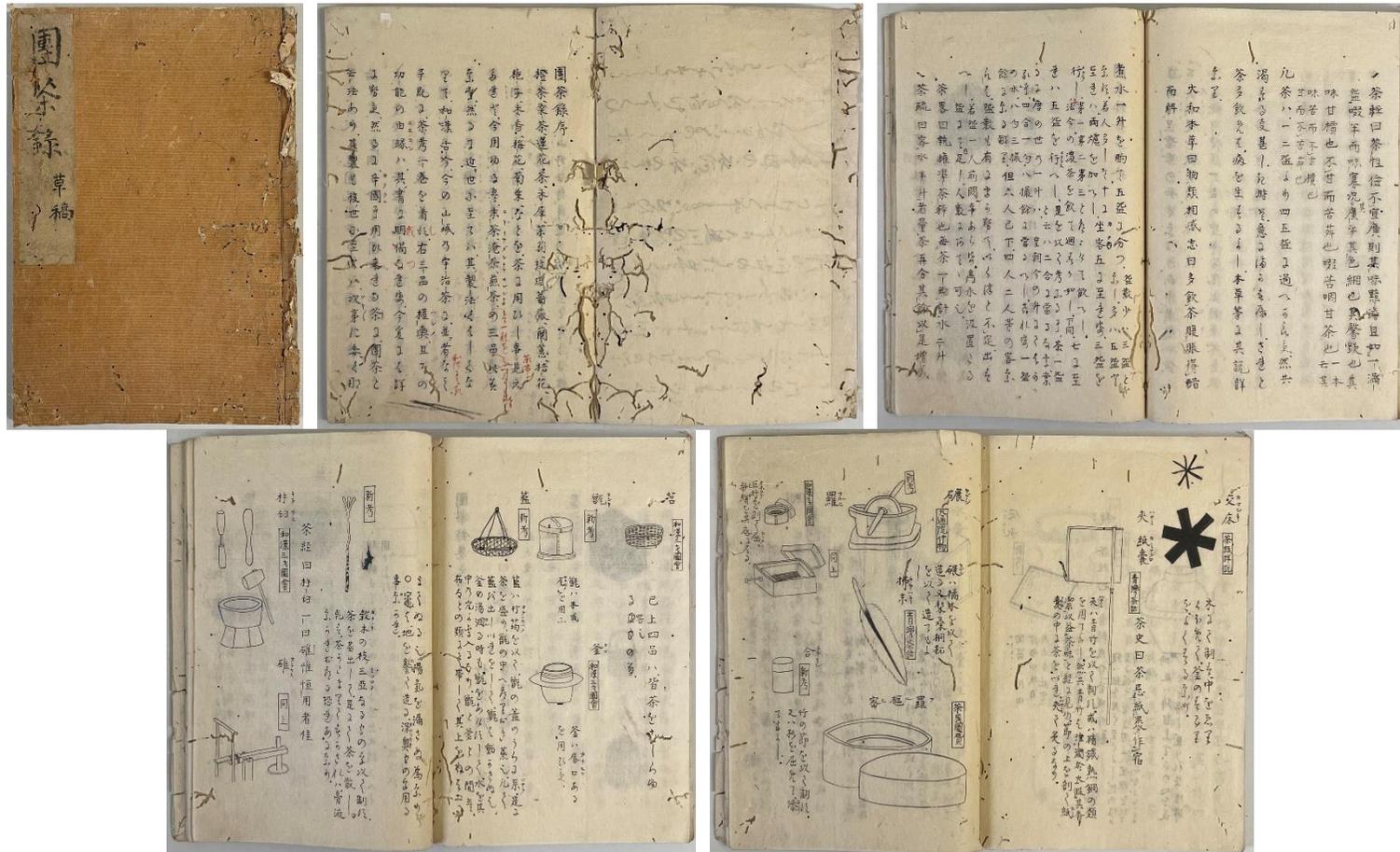
茶事の具体的な進行内容や点前の詳細は本文確認が必要だが、星岡茶寮が当時行っていた茶会の参加者記録として利用できる資料である。

# 23] 団茶録 [草稿：上・下 (1冊)]

## Draft Manuscript of *Dancharoku* (Upper & Lower Parts in One Volume)

行宗淵魚 (土佐国) 1822年 [文政5年] 28丁 26.7×18.5cm 【虫損】

¥ 95,000-

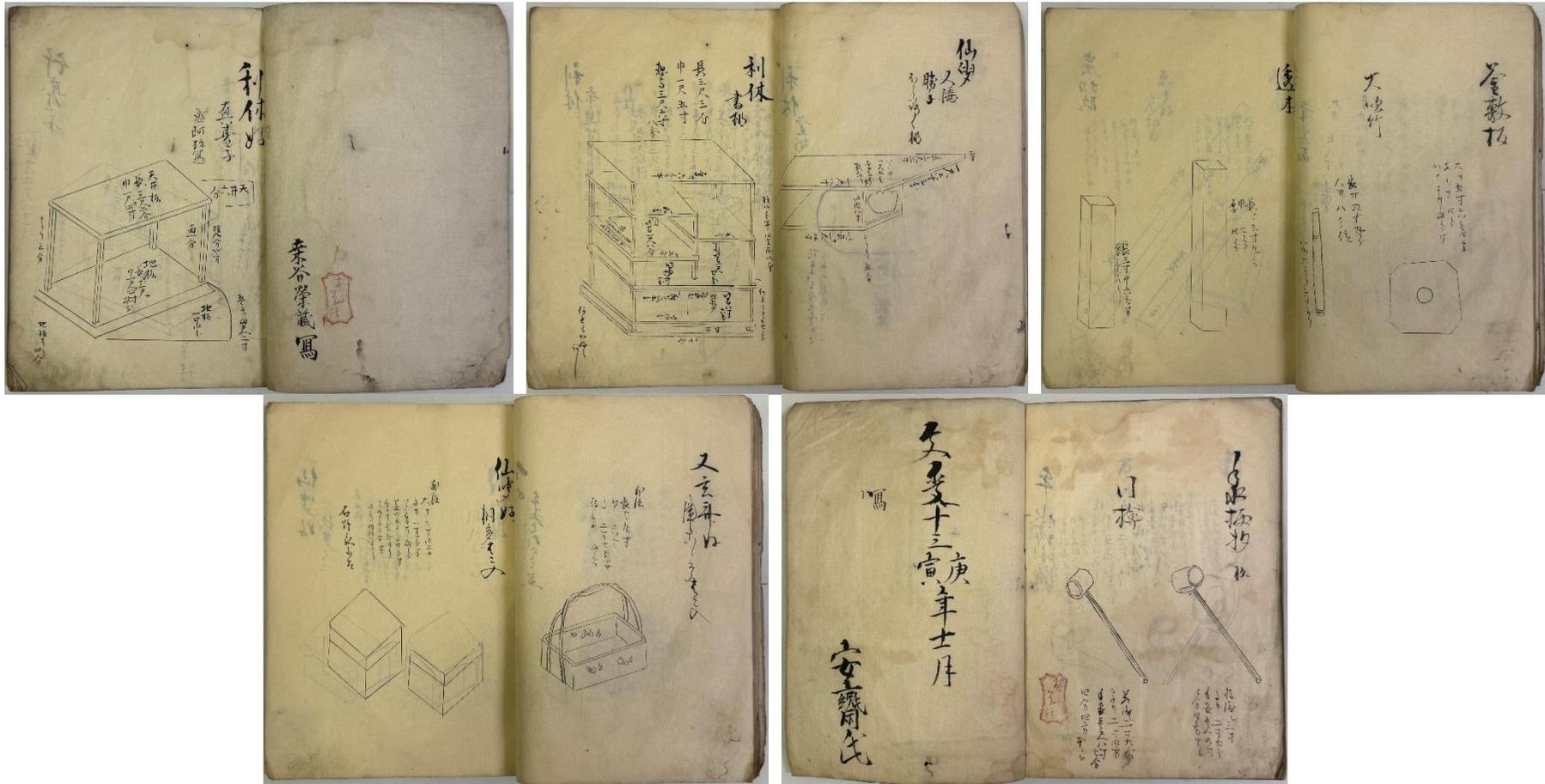


## 24] 茶道具書

### Illustrated Notes on Tea Utensils (Manuscript)

※谷栄蔵 (写) 1830年 [文政13年] 26.2×19.5cm 【写本】

¥40,000-



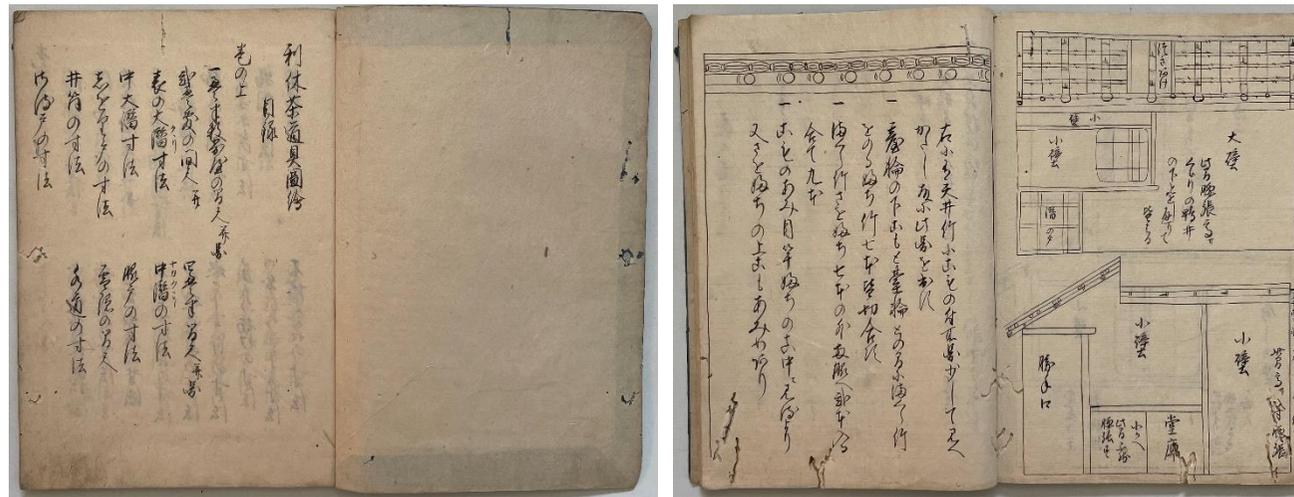
[利休好：真台子・竹台子・釘箱棚／他]・[利休形：袋棚・角棚・旅箆筒／他]

## 25] 利休茶道具図絵

### Illustrated Utensils of Rikyu (Manuscript)

23.4×16.8cm 【写本 少虫損 題箋欠】

¥ 35,000-



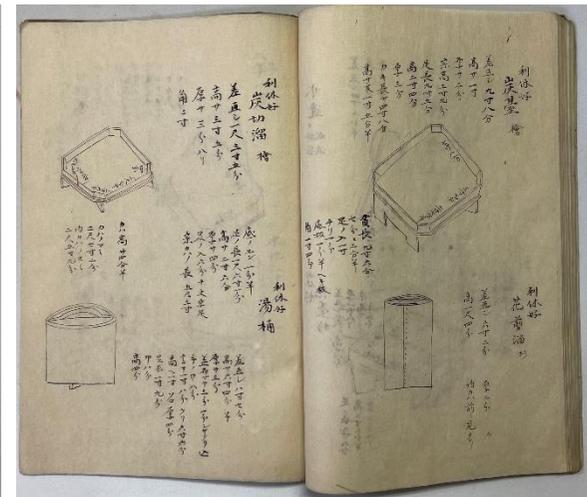
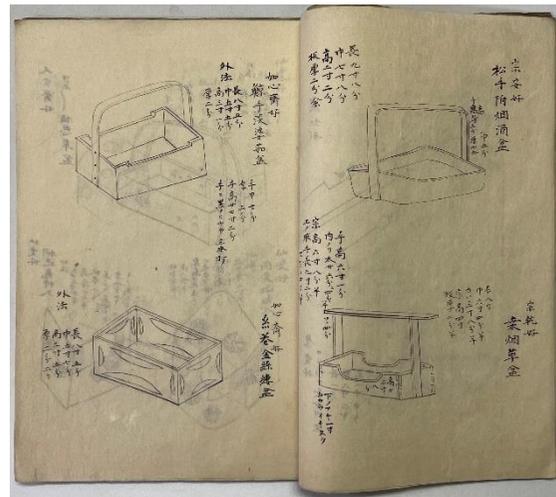
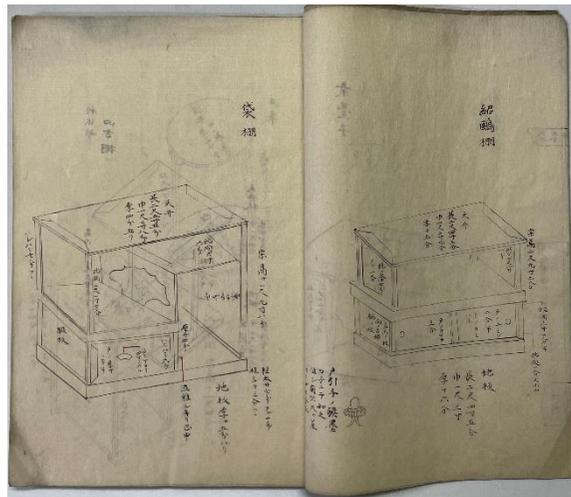
利休茶道具図絵の乾にあたる

26] 千家茶道秘伝書 [道具]

Secret Teachings of the Sen Schools: Tea Utensils (Manuscript)

28.5×20cm 【写本】

¥ 65,000-



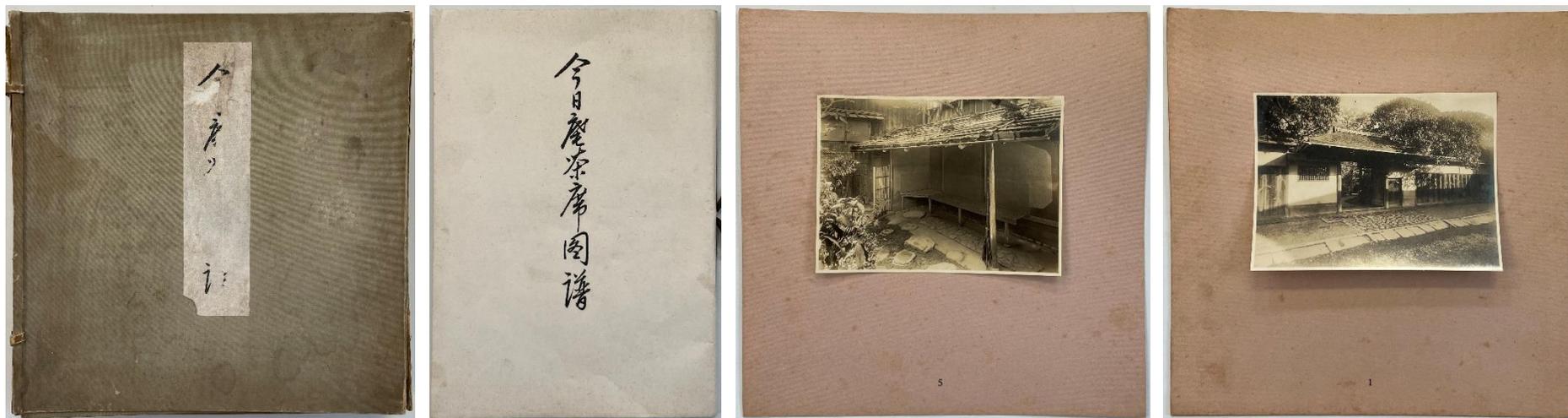
## 27] 今日庵茶席図譜

### Konnitcian Tea-Room Illustrations (Complete Set of 53 Plates)

(全53枚・解説・配置図共) 沢島英太郎 今日庵茶席図譜頒布会(頒布所) 茶道月報社 1941年[昭和16年]

28×28.5cm 【少ヤケ 少イタミ】

¥ 40,000-



本資料は、1941年(昭和16年)に今日庵茶席図譜頒布会(茶道月報社)より頒布された図譜で、全53枚の図版に加え、解説および配置図を備える。収録されている図版には、今日庵に関連する茶席の内部構成・建築的要素・畳割・室内配置などが図示され、各茶席の構造や間取りを視覚的に確認できる形式となっている。茶席構成を記録するための資料としてまとめられている。